

一般社団法人 日本専門医機構  
第5期第18回理事会 議事録

1.	開催日時	2023年11月17日（金） 16時00分～16時55分
1.	開催場所	日本専門医機構会議室（会場およびWEB会議）
1.	現在理事数	25名
	出席理事数	22名
	理 事 長	渡辺 肇
	副理事長	角田 徹（WEB）
	理 事	齊藤 光江（WEB） 麻倉 未稀（WEB） 飯野奈津子（WEB） 岡田英理子（WEB） 今野 弘之 名越 澄子（WEB） 松本 陽子（WEB） 矢富 裕（WEB）
		浅井 文和（WEB） 井上健一郎 木村 壮介（WEB） 鈴木 幸雄（WEB） 滝田 順子 古川 博之（WEB） 森 隆夫
		金井 隆典（WEB） 福原 浩（WEB） 宮崎 俊一（WEB） 渡辺 雅彦（WEB）
		※（WEB）は「WEB会議システム」利用による（「WEB会議運用規則」第2条）
1.	現在監事数	3名
	出席監事数	1名
		茂松 茂人（WEB）
1.	事 務 局	事務局長 堀部 真人 他
	欠席理事数	3名
	理 事	釜范 敏 北村 聖 富山 憲幸
	欠席監事数	2名
	監 事	相澤 孝夫 兼松 隆之
1.	オブザーバー	遠藤 久夫（学習院大学経済学部長） 田中 瑞枝（日本医師会生涯教育課） 佐々木 康輔、寺村 一成、染谷 拓郎（厚生労働省医政局医事課）
		（全て五十音順／敬称略）

議事次第

- I. 第5期第17回理事会（10月20日開催）議事録の確認
- II. 協議事項
  1. 専門医認定・更新委員会
    - (1) 機構専門医認定・更新二次審査について  
(新規：外科、内科、脳神経外科、麻酔科、救急科、耳鼻咽喉科  
更新：皮膚科、救急科、脳神経外科、放射線科  
更新猶予申請：小児科 休止申請：形成外科、眼科 更新延長：臨床検査)
    - (2) 更新基準の改訂について（総合診療・外科）
  2. 専門医検討委員会（認定・更新）
    - (1) 専門医検討委員会（認定・更新）委員の変更について
  3. その他

- III. 報告事項
  1. 各種委員会報告
    - (1) 総務委員会
    - (2) サブスペシャルティ専門医の広告表示に関する合同委員会
    - (3) 将来構想委員会
    - (4) 専門医認定・更新委員会
    - (5) サブスペシャルティ領域検討委員会
    - (6) 総合診療専門医検討委員会
  2. 専攻医登録状況について

3. 社員変更について
  4. 令和5年度臨時社員総会開催について
  5. 講演報告
  6. その他
    - (1) 厚生労働省令和5年度医療施設運営費等補助金交付申請について
    - (2) 次回（11月20日）定例記者会見について
    - (3) その他
- IV. その他

16時00分、定刻に至り、理事長より挨拶の後、出席理事数の確認があり本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

## I. 第5期第17回理事会（10月20日開催）議事録の確認

渡辺理事長より、第17回理事会（10月20日開催）の議事録の確認が行われ、問題がある場合は申し出て頂くこととした。

## II. 協議事項

### 1. 専門医認定・更新委員会

#### (1) 機構専門医認定・更新二次審査について

（新規：外科、内科、脳神経外科、麻酔科、救急科、耳鼻咽喉科

更新：皮膚科、救急科、脳神経外科、放射線科

更新猶予申請：小児科 休止申請：形成外科、眼科 更新延長：臨床検査）

森担当理事より、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した外科（686名）、内科（2023年度1,581名、2022年度4名）、脳神経外科（188名）、麻酔科（283名）、救急科（212名）、耳鼻咽喉科（246名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことが報告され、承認された。外科では試験合格者814名中の128名、内科では2023年試験合格者2,416名中の835名が、COVID-19措置対象の仮修了者となり、研修修了次第、追加申請される予定である。内科2022年度の4名はCOVID-19措置対象で修了要件を満たした者の追加申請である。

また、専門医の更新についても機構の定めた基準に基づき学会の一次審査に合格した皮膚科（304名）、救急科（1,034名）、脳神経外科（3名）、放射線科（1,281名）の専門医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として承認したことが報告され、認定が承認された。なお、救急科で103名、放射線科で96名の猶予・延長申請者がいることが報告され、承認された。猶予・延長の理由は新制度の周知不足、コロナ対応による単位不足などであった。

さらに、小児科6名の更新猶予申請、形成外科1名および眼科3名の休止申請、臨床検査1名の更新延長申請があったことが報告され、承認された。

#### (2) 更新基準の改訂について（総合診療・外科）

森担当理事より、総合診療領域および外科領域における更新基準の改訂について諮られ、承認された。総合診療領域については、領域講習として認められる単位および上限についての改訂であり、総合診療に係る講習会で単位の大部分を取得できるようにするための改訂である。外科領域については、日本外科学会認定外科専門医を認定するとの記載を削除した改訂である。

### 2. 専門医検討委員会（認定・更新）

#### (1) 専門医検討委員会（認定・更新）委員の変更について

渡辺雅彦担当理事より、専門医検討委員会（認定・更新）において脳神経外科領域の委員変更があったことが諮られ、承認された。

### 3. その他

特になし。

## III. 報告事項

### 1. 各種委員会報告

#### (1) 総務委員会

矢富担当理事（委員長）より、前回理事会で承認された役員報酬について書類などの準備を進めていることが報告された。

#### (2) サブスペシャルティ専門医の広告表示に関する合同委員会

矢富担当理事（委員長）より、サブスペシャルティ専門医の広告表示に関する合同委員会および作業ワーキンググループにおいて、広告可能な領域について議論を進めており、当機構が関与するサブスペシャルティ領域専門医の広告については基本領域と同じ扱い（機構認定専門医のみ広告可能とするが、移行期は学会専門医の広告も認める）とし、機構が関与しないサブスペシャルティ領域専門医については、専門医の乱立を防ぐ観点から、厚生労働省の定める外形基準の見直しを求め、新外形基準に該当すれば広告可能としてはどうかという方向でまとまりつつあることが報告された。今後、広告可能な専門医名称について整理を行い、次回理事会に諮る予定である。

#### (3) 将来構想委員会

名越担当理事（委員長）より、将来構想委員会として、医師の働き方改革に対して当機構が積極的に役割を果たすべきと結論付けたことが報告された。なお、時間外労働枠、宿日直許可基準、医師の研鑽の取り扱いの3点を課題と考えており今後検討を進めること、研鑽の取り扱いについては年間の目安となる時間数を提示する案が出ていることが報告された。また、専攻医との意見交換という課題について、「専攻医委員会」のような組織を当機構内に創設する案が出されたことが報告された。

宿日直許可基準に関して、理事からは、厳密に運用すると外勤アルバイトの道を封じてしまうため留意が必要だという意見が出された。これに対して、鈴木理事からは、色々な事情があるのは理解しているが、宿日直と言いつつも睡眠を取ることができず翌日も日勤となる勤務状況が現在もあることは事実であり、当機構としては是正に取り組む必要があるという意見が出された。

また、別の理事からは、宿日直許可は各地域の労働基準局が判断することからバラツキがあることや文書も残っていないほどの過去に許可を取った医療施設もあることなどを念頭に置いて議論すべきという意見、当機構が関与すべきなのは専攻医の労働環境であり対象を医師全般に広げて考えない方が良いという意見が出された。

#### (4) 専門医認定・更新委員会

森担当理事より、放射線科領域からの要望である、2023年8月の認定試験合格者のうち、COVID-19の影響で試験が1年延長されていた者の専門医認定期間を2022年4月から2027年3月とする件について認めたことが報告された。

#### (5) サブスペシャルティ領域検討委員会

滝田理事（委員長）より、委員会での議論、審議を経て、サブスペシャルティ領域研修細則の改定作業を進めていることが報告された。次回委員会（12月4日開催予定）において改定案が承認された場合、次回理事会に提出予定である。

#### (6) 総合診療専門医検討委員会

井上理事より、10月24日に第15回総合診療専門医検討委員会を開催したことが報告された。

### 2. 専攻医登録状況について

渡辺理事長より、2024年度の専攻医登録状況について、11月15日に一次募集を締め切り、総数では例年とほぼ同じ8,600名程度の応募があったことが報告された。

### 3. 社員変更について

渡辺理事長より、日本脳神経外科学会で社員代表者の変更があったことが報告された。

### 4. 令和5年度臨時社員総会開催について

渡辺理事長より、令和5年度臨時社員総会の開催が2024年2月29日14時～15時30分で確定したことが報告された。主な議題は来年度の事業計画および収支予算書についてである。

### 5. 講演報告

渡辺理事長より、10月19日に日本胸部外科学会にて渡辺理事長、滝田理事を講師とする講演を行ったこと、10月31日に日本公衆衛生学会にて行われた講演に渡辺理事長が講師の一人として登壇したことが報告された。

### 6. その他

#### (1) 厚生労働省令和5年度医療施設運営費等補助金交付申請について

福原理事（財務委員会委員長）より、専門医のデータベース構築事業に対する補助金について、過日交付申請を行い現在厚生労働省にて審査中であること、補助額は支出費用の1/2と定められており今年度は前年度と同額の1億4,301万5,000円を上限として申請を行っていることが報告された。

#### (2) 次回（11月20日）定例記者会見について

浅井理事（広報委員会委員長）より、次回の定例記者会見を11月20日に開催する予定であったが、特段報告すべき事項がないことから、開催を見送ることが提案され、承認された。

### (3) その他

渡辺理事長より、甲南医療センターで発生した専攻医の過労自殺に関する事例について、渡辺理事長、角田副理事長、齊藤副理事長、北村理事（倫理委員会委員長）の3名で、日本内科学会の役職者・担当者とともに、逝去された専攻医のご遺族と面談を行ったことが報告された。

本面談は、ご遺族のお話を傾聴することが主目的であり、面談結果および日本内科学会が行った甲南医療センターで専門研修を行った専攻医・専門医へのアンケート調査の結果をもとに、今後の当機構の対応について専門研修プログラム委員会において検討を行い、次回以降の理事会で報告する予定である。なお、検討を進めるにあたっては、必要に応じて当機構の顧問弁護士に対し当該委員会への参加を要請あるいは意見を求めるとしている。

## IV. その他

特になし。

### 本理事会での決定事項

- ・機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した外科（686名）、内科（2023年度1,581名、2022年度4名）、脳神経外科（188名）、麻酔科（283名）、救急科（212名）、耳鼻咽喉科（246名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことを承認した。
- ・機構の定めた更新基準に基づき学会の一次審査に合格した皮膚科（304名）、救急科（1,034名）、脳神経外科（3名）、放射線科（1,281名）の専門医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として更新認定したことを承認した。
- ・総合診療領域および外科領域における更新基準の改定を承認した。
- ・専門医検討委員会（認定・更新）における脳神経外科領域の委員変更を承認した。

### 今後の会議予定

- ・第5期第19回理事会 2023年12月15日（金）16時00分～18時00分

以上

以上をもって、本日予定された議事を終了し、16時55分に散会した。この議事内容を明確にするため、この議事録を作成し、定款第33条第2項の規定に従い、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2023年11月17日

理 事 長 三 渡 辺 敏  
渡辺 敏

副理 事 長 角 田 徹  
角田 徹

副理 事 長 齊 藤 光 江  
齊藤 光江

監 事 茂 松 茂 人  
茂松 茂人